

施策事例 ① 住民参画・NPO・ボランティア関連施策

# 射水まちづくり大学

**自治体情報** 富山県射水市

人口 / 94,106人 標準財政規模 / 23,469百万円

- 担当課** 市長政策室まちづくり課
- 電話番号** 直通 0766-57-1622
- 実施主体** 射水まちづくり大学運営協議会 (射水市、富山県立大学、近畿大学水産研究所、富山実験場、富山福祉短期大学、富山高専専門学校、富山情報ビジネス専門学校)
- 関連ホームページ** <http://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=3029>
- 事業期間** 平成22年度から
- 関係施策分類**

**予算関連データ**

総事業費：587千円 (H22)

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	587

## 施策のポイント

射水まちづくり大学は、平成22年度に開学し、27名の卒業生を送り出した。

今後、卒業生が増えていくとともに、市内各地域で卒業生を核として市民協働のまちづくりが推進されていくことが期待される。

## 施策の概要

### 1. 取組に至る背景・目的

射水市では、平成19年度を「市民と行政による協働のまちづくり元年」と位置づけ、協働のまちづくりを積極的に推進している。

協働とは、よりよい地域社会を実現するため、「市民と行政が地域の課題やまちづくりの推進に対し、ともに考え協力しながら課題の解決や事業の実施に取り組むこと」であるが、本大学は、この協働の理念のもと地域の課題解決やまちづくりをけん引する「まちづくりのリーダー」を育成することを目的として実施している。

### 2. 取組の具体的内容

大学の開設・運営に当たり、射水市と射水市内に所在する5つの高等教育機関で運営協議会を組織し、共同運営を行っている。

講義は、地域の歴史・文化から住民の意見集約の手法など、まちづくりに係る幅広い内容となっており、7月から11月にかけて12回（平成23年度）の講義を開催し、地域づくりリーダーの養成を図っている。

なお、各年度の定員は30人だが、卒業生に対しても「まちづくり特別コース」を設置し、より高度・実践的な講義を行っている。

### 3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

毎年、定員30人を確保し、卒業後はそれぞれの地域でまちづくりのリーダーとして活躍していただくことを期待している。

### 4. 現在までの実績・成果

平成22年度 講義13回 卒業生 27名

平成23年度 講義12回予定 受講生 22名

(まちづくり特別コース 平成23年度 講義5回予定 受講対象者は平成22年度の卒業生27名)

### 5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

「まちづくりのリーダー」を育成するためには、どのような講義が望ましいのか、また、どうあるべきかなど、講義編成に苦勞した。今後、卒業生の意見も取り入れながら、よりよい編成を目指したい。

### 6. 今後の課題と展開

本学の卒業後、卒業生が地域で「まちづくりのリーダー」として活躍してもらうための仕組みづくり（人材バンクの設立等）が課題である。